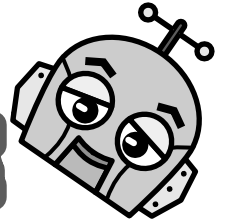




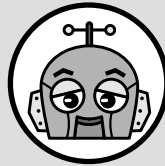
第1回



ロボット知的財産権教室



博士
ロボットの知識は豊富。
最近、知的財産権の勉強を
はじめた。



パテ丸
博士の開発したロボット。
人工知能を搭載してはいるが、
まだまだ未完成。



編集部
博士やパテ丸の数少ない友人。
知的財産権に詳しい教授と
親しい。



おい、パテ丸！ 起きろあ。
ロボットのくせに
よだれなど垂らしおって。(ホカッ)



ほげっ…。あ。はっ…
ハ・カ・セ、
オハヨウゴザイマス。<(_)_>



ロボットの真似なんぞせんでええ(パテ丸はロボットでは?)。
実はな、おまえに「足」をつけてやろうと考えておる。



ホントですかい?
これで あっしも、ASIMOの仲間入りだい。(^^)



……(^_^;) これから開発に取りかかろうと思っとな。



こ、これから? (@_@) 博士じゃ30年とかかかるんじゃ…。
三十路にして立つかあ…。



そ、それじゃあ、ホンダにも相談してみるかのあ…。



そういえば博士。ソニーのAIBOやホンダのASIMOに使われている
技術を、簡単に調べられないんでしょうか?
っていう質問は良くあるんですよ(神奈川県 S君)。



そんなの無理だよ。
ASIMOに聞いても
教えてくれないもん。



いや。特許庁のホームページを
開いてIPDLにアクセスすればいい。



IPDL…。特許電子図書館ですね。  トッキョデンシトシヨカン?



そうじゃ。ソニーのAIBOやホンダのASIMOのような
最先端のロボットに使われている技術の多くは特許出願されている。
それをインターネット上で探るためのアイテムじゃ。
インターネットじゃから、何時でもどこからでもアクセスできるし、
それに何と云っても、誰でもタダで使えるから気楽じゃな。



でも、「トッキョ」って、難しいからわからないよあ。(??)



特許のことなら、また今度、教えてやろう。
とにかく、IPDLにアクセスしてみようじゃないか?



協力しますよ博士。

皆さん、こんにちは。今月号から、アイデアや工夫にまつわる皆さんの疑問にお答えしていくことになりました。これまで、「新しい工夫やアイデアをどうしたら特許として登録できるの?」「費用は?」といった具合に、いろいろな疑問があったことと思います。そういった身近な様々な疑問にお答えしていきたいと思っています。皆さんの疑問をどしどし編集部の方へお送りください。特許や実用新案といった知的財産権の専門の教授にお伺いしながら、Q&Aの形でお答えしていきます。

さっそくパテ丸と博士のご質問にお答えするために教授に聞いてみましょう。

ソニーやホンダの特許を調べたい

編集部：というわけで、教授、特許について調べたいと思うんですが、どうやっていいんでしょうか?

教授：テレビなどでも良く見かけるソニーのAIBOやホンダのASIMOですが、こうした最先端のロボットには、もちろん数百件もの多くの特許がとられています。そもそも特許とは、新しい価値ある技術的発明に対して、それを尊重して、一定の期間、独占することが認められた権利をいいます(法的に守られているということです)。

たとえば最近の人間型ロボット(ヒューマノイド)は、二足歩行できるようにするためにいろいろなアイデアが使われているわけですから、当然、いろいろな特許がとられていることとなります。こういった特